

こんなこと
あったで

まちかどアルバム



7月27日、人々の楽しい笑い声が響きあい、大勢の人でにぎわう歩行者天国の土曜夜市。国文祭PRイベントでは夢フェスタ合唱団によるイメージソング「ふるさと」が夜空にこだまし、感動を呼びました。



8月1日、鳥取県東部の15市町村の“ええもん”を集めて展示・即売するとともに、観光情報などを発信する「いなばふるさと館」がオープンしました。わが町の自慢がいっぱい詰まった空間です。



7月31日、核のない平和な世界を願う「反核・平和の火リレー」の一団が鳥取市を訪問しました。鹿野町から走り継がれてきた平和の火は、次のランナーに手渡され、鳥取市から岩美町へと向かいました。



7月29日から8月1日の間、韓国・清州市との中学生交流事業が行われました。交歓会では、鳥取市の中学生が傘踊りなどを披露。最後にみんなでお互いの国の歌を合唱し、心と心の交流を深めました。



7月10日、県下一斉に「夏の交通安全県民運動」がスタートしました。鳥取市では、警察音楽隊を先頭に約200人が交通安全を呼びかけながら、市役所前から鳥取駅前までパレードしました。



7月13日、「夢フェスタボランティアセンター」がオープンしました。センターの森本幸子代表は、「みんなで楽しみながらボランティアに参加しましょう」と呼びかけました。